

# 左京区岡崎における神宮道（冷泉通～二条通） と公園の再整備基本計画



平成 26 年 3 月

京 都 市

## 進化・発展する岡崎

国内でも類のない文化・交流ゾーン京都岡崎。明治28年、平安遷都1100年記念事業、第4回国内勧業博覧会の会場として、平安神宮やパビリオンが建設され、その後も先進性と優れた景観や機能を受け継ぎ、京都と日本の発展をリードしてきました。

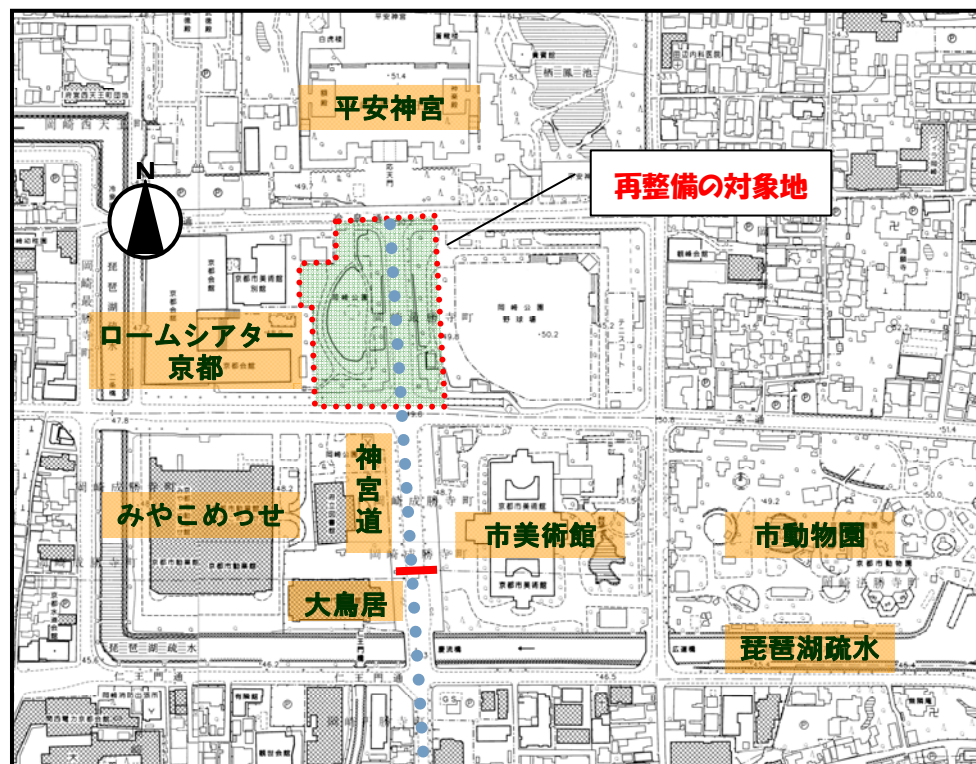
京都市では、岡崎の進取の気風を踏まえ、岡崎地域活性化ビジョン（※）を策定し、優れた都市景観を将来に継承するための「都市計画の見直し」をはじめ、動物園やロームシアター京都（京都会館）の再整備事業の推進、更には市美術館将来構想を近々取りまとめるなど、施設の機能向上に取り組んでいます。

また、平成23年7月には、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」が設立され、優れた地域資源を活かした催しや情報発信が行われています。

このたびの「左京区岡崎における神宮道と公園の再整備」は、大きく進化・発展している岡崎の中心において、エリアのメインストリートである神宮道（冷泉通～二条通）を歩行者専用の空間とし、隣接する公園と一体的に再整備することにより、岡崎の核となる安心安全なオープンスペースを創造します。

今後とも、岡崎地域活性化ビジョンに掲げる「岡崎グラウンド空間の多様な活用」などについても検討を進め、世界の人々が集いほんものに出会う「京都岡崎」を実現してまいります。

（※）岡崎地域活性化ビジョン・・・市民、有識者、地元、各界関係者等19名で構成される「岡崎地域活性化ビジョン検討委員会」で、50年後、100年後の将来を見据えた岡崎の将来像と実現への具体方策を盛り込んでいる。平成23年3月策定。

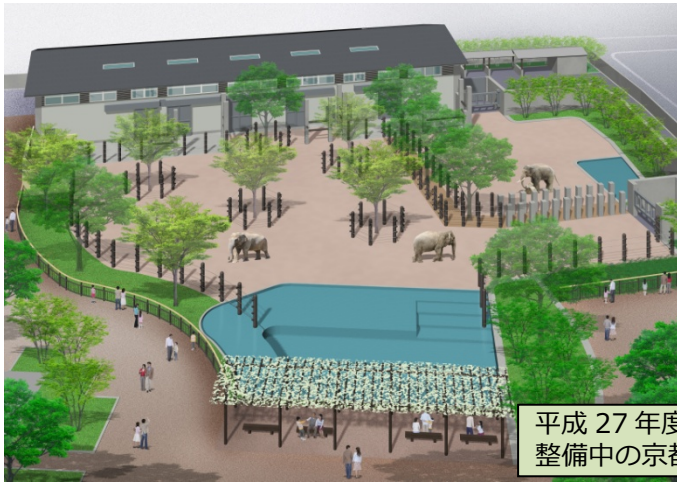




平成 28 年 1 月のオープンに向け整備中の  
ロームシアター京都（京都会館）



平成 27 年度のグランドオープンに向け  
整備中の京都市動物園



将来構想を近々取りまとめる  
京都市美術館



京都岡崎レッドカーペット



岡崎桜回廊十石舟めぐり

優れた地域資源を活かした催し

# 1. 神宮道と公園の現状と課題

文化・交流ゾーン岡崎の中心地である「神宮道」と「公園」の現状と課題について整理します。

## ■ 路上駐車が多い

- 神宮道は平安神宮正面に位置する岡崎地域のメインストリートですが、路上駐車が多く、平安神宮を見通す景観を阻害しています。



## ■ 樹木が鬱蒼としている

- 公園や神宮道両側には、中低木が混み合っており、神宮道と公園相互に見通すことができず、暗いイメージとなっています。
- 神宮道と公園をつなぐ入口も1箇所しかなく、樹木が空間を分断しているため、イベントなどの際に一体的な利用ができません。



## ■ 東山への眺望景観が阻害されている

- 公園内の成長した樹木のため、ロームシアター京都や公園から美しい東山稜線を見通すことができません。



## ■ 公園の利用が少ない

- 神宮道や周辺施設と至近距離にも関わらず利用者が少ない状況です。
- ロームシアター京都など隣接地との間口が狭く、来訪者の回遊性が十分に確保できていません。
- 神宮道やロームシアター京都と一体性を持たせ、往来しやすくするなど、回遊性を高めるとともに、賑わいを呼び、多くの人に快適に過してもらえる空間づくりが必要です。



## ■ 夜間の照明が暗い

- 神宮道・公園ともに街路灯が少なく暗いため、夜間でも安心・安全に歩ける照明設備の設置が必要です。



## 2. 神宮道と公園の再整備の考え方

「神宮道（冷泉通～二条通）」を公園区域に取り込んで再整備します。  
神宮道は歩行者専用の空間とします。

### ①まちなかの貴重な緑空間を保全しながら、神宮道・公園エリアが一体となった空間づくりを行います

「神宮道（冷泉通～二条通）」について

- 景観舗装を施すなど、平安神宮の参道としてのしつらえをもたせ、風格のあるものとします。
- 道路法上の「道路（※）」としての位置づけを外し、自動車が走行しない歩行者専用の空間とします。
- 道路域の一部に植栽帯を設けるなど新たな緑空間を確保し、公園区域に取り込みます。
- 東西両側の公園と一体的に再整備し、景観的・空間的一体性を創出します。

（※）道路法上の「道路」…一般交通の用に供し、国又は地方公共団体により指定された道のこと。



### ②創造的で豊かなオープンスペースと優れた景観を形成します

- クロマツなどの高木を残し、桜を中心に可能な樹木を移設できるよう検討したうえで、視線を遮る樹木を間引くことで、東山など遠景を展望できる見晴らしの良い空間を確保します。
- 来訪者がゆっくりと休憩できるように、オープン空間とバランスを取りながらゆっくりと憩えるベンチを配置します。
- ロームシアター京都（平成28年1月リニューアルオープン）の中庭と一体性をもたせ、来訪者の回遊性を高め、公園利用者が天候に左右されずロームシアター京都において新たに整備するカフェやアメニティ施設でゆっくり休憩できるようにします。園路を広くとるとともに、音楽やライブなども楽しめる空間を創出します。

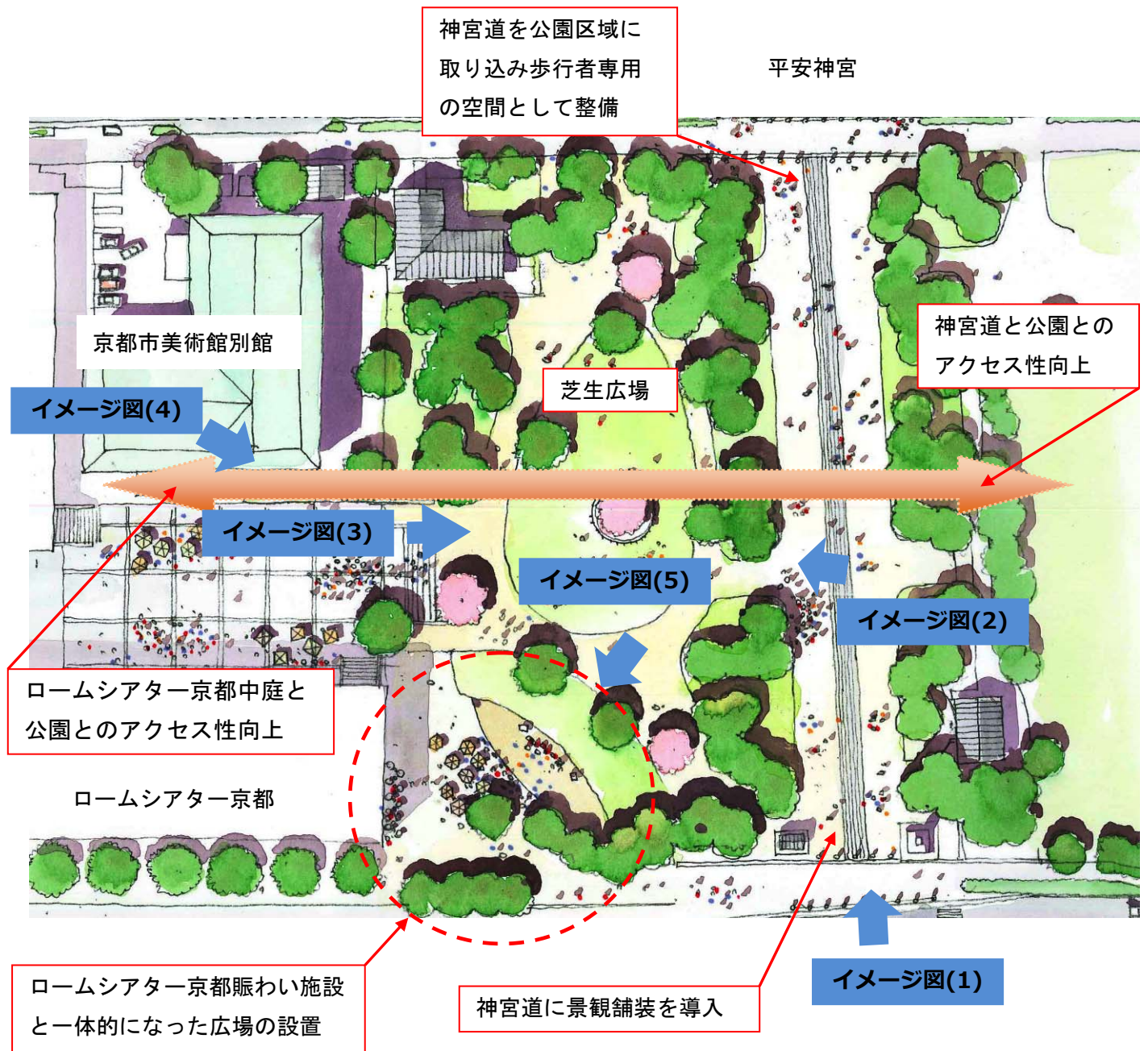


### ③環境への配慮とユニバーサルデザインに対応します

- 神宮道と公園との段差を解消し、一体的に整備することで、回遊性を確保します。
- 神宮道はもちろん、公園は滑りにくく歩きやすい形状とし、多くの方が快適に過ごせる空間にします。
- 環境に優しい太陽光発電LED照明を採用し、夜間も安心・安全に歩けるようにします。



### 3. 神宮道と公園の再整備後のイメージ

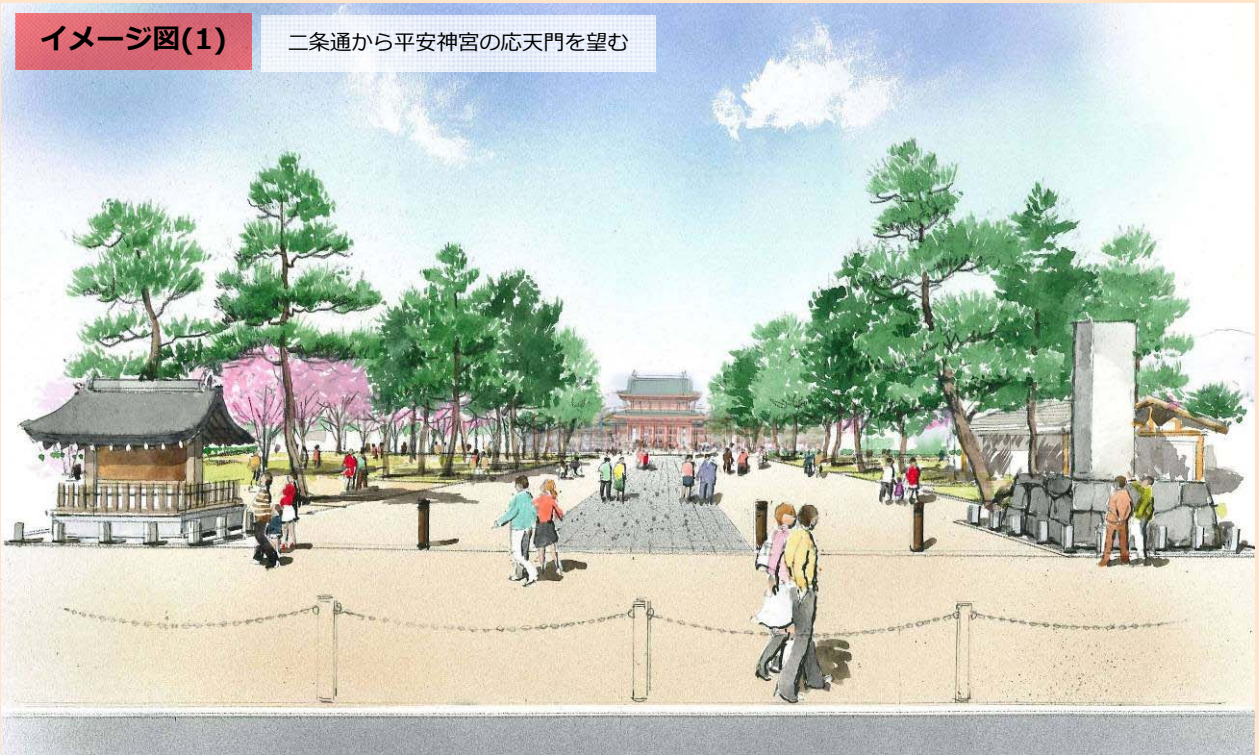


### 4. 今後の予定

平成 26 年度	実施設計, 道路廃止告示, 都市公園区域変更の手続, 工事着工
平成 27 年度	平成27年夏完成, 都市公園開園告示

イメージ図(1)

二条通から平安神宮の応天門を望む



イメージ図(2)

神宮道から京都市美術館別館を望む



イメージ図(3)

ロームシアター京都と公園の  
境界付近から東山を望む



イメージ図(4)

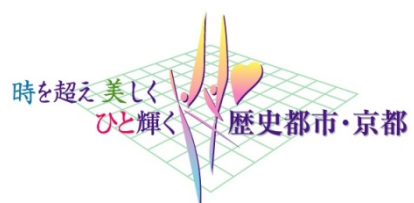
京都市美術館別館付近から東山を望む



イメージ図(5)

公園の内部からロームシアター京都  
賑わい施設を望む





発行：京都市総合企画局市民協働政策推進室プロジェクト推進担当  
平成 26 年 3 月発行